



2026年3月13日

各 位

会 社 名 株式会社OSGコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 山田 啓輔
(コード：6757 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理部長 安岡 正彦
(TEL. 06-6357-0101)

特別利益（固定資産売却益）及び特別損失（関係会社株式評価損）の計上
並びに業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は2026年1月期決算におきまして、特別利益（固定資産売却益）及び特別損失（関係会社株式評価損）を計上することといたしました。また、2025年3月14日に公表しております2026年1月期（2025年2月1日～2026年1月31日）の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結及び個別決算における特別利益（固定資産売却益）の計上について

当社は、2026年1月期の個別決算において、当社保有資産の有効活用及び経営資源の最適化を目的として、空堀ビルの売却を実施いたしました。当該固定資産の売却に伴い、固定資産売却益74,274千円を特別利益として計上することといたしました。なお、本件取引は、株式会社三愛コスモスを売却先とする関連当事者取引に該当いたします。取引条件（価格等）は、第三者性・公正性を担保するため、不動産鑑定評価書に基づき決定しております。また、本件取引の実施にあたっては、会社法等の関連法令を踏まえ、利害関係取締役を除く取締役による審議及び承認を経て決定しております。

2. 個別決算における特別損失（関係会社株式評価損）の計上について

当社は、2026年1月期の個別決算において、当社の連結子会社である株式会社銀座仁志川株式について、簿価に比べて実質価額が大きく低下したことから、関係会社株式評価損98,095千円を特別損失として計上することといたしました。なお、当該関係会社株式評価損は、連結決算においては内部消去されるため、連結決算への影響はございません。

3. 2026年1月期 連結業績予想値と実績値との差異（2025年2月1日～2026年1月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 8,600	百万円 500	百万円 500	百万円 300	円 銭 57.75
実績値 (B)	8,185	207	216	106	20.49
増減額 (B-A)	△415	△293	△284	△194	—
増減率 (%)	△4.8	△58.4	△56.7	△64.4	—
(ご参考) 前期実績 (2025年1月期)	7,929	133	125	33	6.51

4. 業績予想値と実績値との差異の理由

当連結会計年度における業績予想値と実績値との差異の主な理由は以下のとおりであります。

水関連機器事業においては、給水スポットの展開において、万博関連需要の本格導入時期が当初想定より後ろ倒しとなったことや、大口案件の納入時期が計画より遅延したことにより、当連結会計年度における売上への寄与は限定的となりました。加えて、大阪・関西万博における給水スポットの増設及び創立 55 周年に伴う販売促進企画の実施により、販管費が増加いたしました。

また、探索領域と位置付けている F O O D 事業においては、収益構造の改善や新業態展開を進めたものの、新工場や海外市場開拓に向けた先行投資が継続していることから、当連結会計年度における損益面の改善は進んだものの限定的となりました。

あわせて、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、収益性の低下した一部営業店舗の資産に係る固定資産の減損損失を計上したことにより、当初発表の業績予想を下回る実績となりました。

5. 配当の状況

上記に記載の営業店舗の資産にかかる固定資産の減損損失につきましては、臨時かつ非現金支出費用であります。本件を踏まえ、今後の事業展開及び成長性などを総合的に勘案した結果、当初予想通り 1 株当たり 40 円の配当を予定しております。

以 上